

セムコーポ・インダストリーズ

2014/12 期は減益だが、海外展開への注力から長期の収益改善が期待される

シンガポール | インフラ事業 | 業績レビュー |

BLOOMBERG SCI:SP | REUTERS SCIL:SI

- 2014/12 通期は売上高が前期比 6.6%増の 115.07 億 SGD、純利益が 4.8%減の 7.81 億 SGD となった。
- セグメント別は、主力のマリーン事業が増益となった一方、インフラや都市開発が減益となった。
- 2015/12 通期の市場予想は売上高が 115.76 億 SGD で前期とほぼ変わらず、純利益が同 2.4%増の 8.00 億 SGD である。

What is the news?

2014/12 期の業績は、堅調な主力事業-マリーンやインフラが業績に貢献し、売上高が同 6.6%増の 115.07 億 SGD となったが、純利益が 4.8%減の 7.81 億 SGD となった。ただし、傘下の発電会社 Sembcorp Salalah の IPO による利益貢献や英国でのプロジェクトの損失など、前期に計上した一過性要因を除けば、純利益は同 3.0%増となる。

セグメント別の純利益は、主力のマリーンは基礎工事を中心に受注が伸び、前期比 0.9%増の 3.4 億 SGD、インフラは前期に計上した特別利益の反動で同 9.3%減の 4.1 億 SGD (一過性要因を除けば 7.0%増益)、都市開発は中国での土地販売が軟調だったことで 11.8%減の 0.4 億 SGD となった。

同社は、海外への進出も注力している。子会社の Sembcorp Utilities を通じてミャンマー電力省の傘下となるミャンマー電力エンタープライズ (MEPE) より、225 メガワットのガス火力発電所を建設・運営するための認可を得た。MEPE はミャンマー最大のガス火力発電所となることが見込まれ、発電所は 2017 年に完成する予定である。ミャンマー経済は急成長しており、電力需要の拡大が見込まれるポテンシャルの高い市場であることから同社の今後の業績動向が注目される。

How do we view this?

2015/12 通期の市場予想は売上高が 115.76 億 SGD で前期とほぼ変わらず、純利益が同 2.4%増の 8.00 億 SGD である。主力のマリーン事業では 2019 年までに 114 億 SGD の受注が決定した。また、インフラ事業についてはシンガポールでは競争激化や原油安の影響で厳しい状況が続くが、インドでは 2015 年に 1,320MW の発電所の稼働を予定しており、2016 年には 2 基目が稼働する計画となっており、長期的な収益拡大が期待できそうだ。

業績推移

※参考レート 1SGD=90.14円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
売上高(百万SGD)	10,189	10,798	11,507	11,576	11,871
純利益(百万SGD)	753	820	781	800	833
EPS(SGD)	0.42	0.46	0.44	0.44	0.46
PER(倍)	10.76	9.83	10.27	10.27	9.83
BPS(SGD)	2.52	2.81	3.17	3.60	3.89
PBR(倍)	1.79	1.61	1.43	1.26	1.16
配当(SGD)	0.15	0.15	0.17	0.16	0.17
配当利回り(%)	3.32	3.32	3.76	3.54	3.76

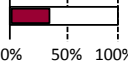
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

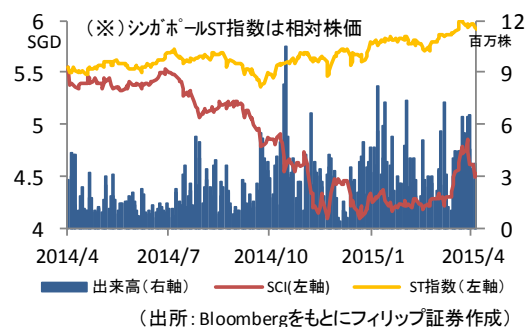
配当予想(SGD)	0.160	(予想はBloomberg)
終値(SGD)	4.52	2015/4/29

会社概要

1998年に設立したエンジニアリング会社である。シンガポールの他は、6大陸において、電力・ガス・蒸気・水力などのインフラ事業、マリーン事業、都市開発を手掛ける。5,600メガワットの総電力容量を備えた施設や一日当たり700万立方メートルの水を稼働する施設を保有する。海洋事業では船舶修理、造船、改装、掘削装置組立の他、オフショアエンジニアリングでは船の甲板上の製造を含め、海洋土木の修理や建設を展開しており、グループ会社で「Sembcorp Marine」が上場している。

企業データ(2015/4/29)

ベータ値	0.90
時価総額(百万SGD)	8,064
企業価値=EV(百万SGD)	12,801
3か月平均売買代金(百万SGD)	14.60
株価と52週株価レンジ(高安)	4.05  5.54



主要株主(2015/4)

株主	(%)
1. Temasek Holdings Private	49.55
2. Mondrian Investment partners	5.03
3. Norges Bank Investment Management	1.13

アナリスト

袁鳴	ming.yuan@phillip.co.jp
	+81 3 3666 0707
北浦 優子	yuko.kitaura@phillip.co.jp
	+81 3 3668 8664
庵原 浩樹	hiroki.ihara@phillip.co.jp
	+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。